

「奥多摩自然観察会 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

奥多摩の街の中心部は「冰川 (ひかわ)」と呼ばれている。現在の青梅線の終点は「奥多摩駅」だが、かつては「冰川駅」だった。(昭和46年改称)

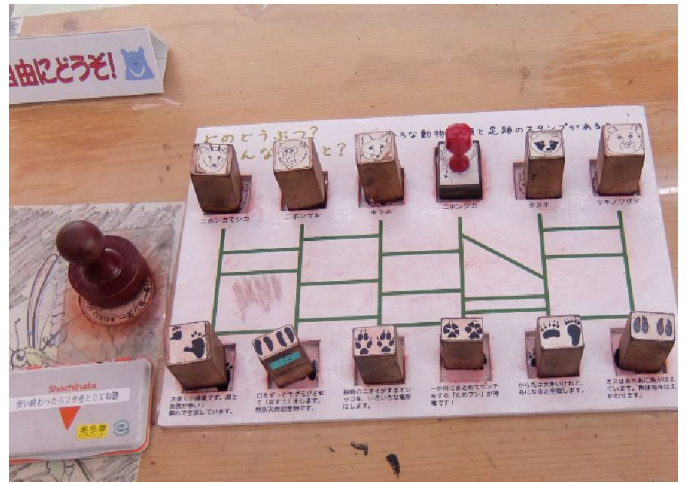


「昭和37年当時の時刻表路線図」(田中所有)

青梅線の終点が「冰川」となっている。京王線の終点も「京王八王子」ではなく「東八王子」、五日市線の「武蔵岩井駅」もまだ健在である。面白い。



これはビジターセンターの脇から、本仁田山 (ほにたやま) に向かう道である。坂の途中に青梅線の踏切が見える。時々山の中に警報機のカンカンカン・・・という音が響いて、非常に不思議な気分になる。青梅線は東京都を走る「山岳鉄道」といえる。



「奥多摩ビジターセンター」は、奥多摩の自然環境について広範囲に紹介している。この動物の足型スタンプもよくできている。来館者の子どもたちに人気で、台紙も無料でもらえる。



センター2階の集会室を借りて、まずは水彩画の描き方のレクチャーをした。皆さん非常に熱心で、小一時間、楽しく過ごすことができました。



参加者に配った道具は、透明水彩絵の具 (ケーキカラー) 12色、水筆ペン (当方が考案した水彩絵筆)、水彩用はがきである。練習用のお手本に、上高地の白樺の絵も配布しておいた。水彩は小学校以来のご対面という方も多かったが、すぐにコツをつかんでいた。